

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 指導室は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		出入りロドアが重厚なため開閉しにくい。ドアストッパーなどを用いて開閉しやすいようにしている。	扉に「指づめ注意」ステッカーを張り、指詰め防止の注意喚起をしている。
	4 指導室は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		開所して初めてアンケートを実施。次年度に保護者の意向を反映させ業務改善をおこないます。今後毎年1回実施していく予定である。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者等向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所ホームページ等で公開しているか		○		開所して初めてアンケートを実施。次年度に保護者の意向を反映させ業務改善をおこないます。今後毎年1回実施していく予定である。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価については、現在実施の予定はないが、今後必要に応じて実施を検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		スタッフ間での研修を月1～2回実施している。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にあセスメントツールを使い評価し、目標設定に活かすようにしている。		
11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	指導内容が固定化しないよう工夫しているか	○		スタッフ間で情報交換しつつ、指導内容の改善等の努力をしている。	
	15	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			目標と経過や結果が明確になるように書式を変更(工夫)した。
	16	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要に応じて担当者と児度発達支援管理責任者が話し合いをもち、指導内容と子どもの様子から支援の方向性を確認している。	日々の記録において、支援目標に対する記録を書き留めるよう努力する。そのことにより常に支援目標を意識した指導を行ない、支援計画を確認していきたい。
	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
関係機関や保護者との連携	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	19	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		
	20	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		
	21	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		開所初年度のため出来ていなかった。次年度以降努力していきたい。
	22	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		開所初年度のため出来ていなかった。次年度以降努力していきたい。
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			

	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者同伴のため、毎回指導内容の目的と結果を伝え、子どもの状況を共通理解している。	
保護者への説明責任等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	27	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	28	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	29	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者の”困り感”を見極めた上で適切で迅速に対応できるようにしていきたい。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	連絡事項は個別に来室時に伝えている。	
	31	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		施錠できるロッカーで保管管理している。	
	32	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			検査結果や相談内容等を紙面にまとめて伝えるようにしていきたい。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有していく。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	35	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○		
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		各自がその都度ヒヤリハット事例を記入し、事務所内に掲示し職員間で共有していく。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修に参加している。	